

# これからのサービスについて

さんお元気で寝たきりの方が少ないのが特徴です。

**司会** 町の現状とそれに対するの意見をいただきありがとうございます。

それでは町で計画している診療所の設置、介護老人保健施設などについてご意見をお聞かせ下さい。

**榎田** 理想をいつたらしめたいが、高齢者、障害者にやさしい町づくりが、町の発展になると思います。

産業重視から保健・福祉重視に転換し、健康者も弱者も共に生きていける町づくりが必要ではないでしょうか。他の町から移り住んでもいいといわれるような町ですね。

これからは保健、医療、福祉の総合センターのようなものが町の核になっていくのが理想かなと思います。

老人の足の確保やヘルパーの増員、介護者の財政援助、住宅改善援助など、充実しなければならぬことはたくさんあると思いますし、健康な老人や要支援、要



医師 榎田正一先生

介護に該当しない人の扱いも考えていたきたいと思います。

**司会** サービスを提供する宗田さんからどうですか。

**宗田** これからは、サービスを必要とする人が本当に望んでいること、困っていることは何か、一人ひとりのニーズを把握していかないと、サービスの押し付け、不足になってしまいます。できる限り理解に努め、信頼関係を深めて、少しずつ自立した生活が送れるようなサービスを提供したいと考えています。

介護保健がスタートしますと、町民のサービスに対する意識も変わってきますし、利用者側もより質の高いサービスを要求するようになり、利用者側が選択する時代になると思います。

これからは利用者が選択できるように、サービスの内容を充実させる必要があると感じています。

**司会** ありがとうございます。最後に今後の古殿町の福祉政策について町長からお願います。

**町長** お二人のお話をお聞きして、一般町民からお年寄りまで、幅の広い福祉をどうするかという問題が古殿町の課題であり、医療については現在、榎田先生に依存しているのを感じており、先生に感謝する次第です。

先生からお話が出ました、医療、保健、福祉の施設の総合化など、総合医療体制の確立については同感であります。医療機関を整備し、老人のいろんな政策を同



社会福祉協議会介護福祉士 宗田仁子さん

時に運営させていくことが古殿町の夢です。施設も含めヘルパーへの期待、信頼度が高くなりますので、人員確保なども懸案の一つになります。

来年四月からの介護保険実施については、受け入れ体制は大丈夫なのかというサービスを受ける側の不安をなくすよう行政としてPRする必要があります。また、実施された場合の予測のできない問題に行政がどう対応していくかだと思います。先生提案の横のネットワークづくりも必要で、現在の方向で予算の計上をしています。

これからは高齢者にやさしい町づくりのため、あらゆる施策に本格的に取り組む、福祉の町古殿を目指したいと思います。  
**司会** 貴重なご意見、ご提案ができましたが、これからの町民の福祉の向上に役立たいと思います。本日はお忙しい中ありがとうございました。

●司会／町民福祉課長

